

れたまま、組織化されていない。区会活性化対策上、区会の地域密着型ボランティア振興の観点からも、区会での学校支援活動の組織化が最優先課題といえる。

- 1) 当面の「区会レベルでの学校支援活動」の組織化を進める一方、本部（学習支援）区会（学校支援）双方の連携を中心に、わの「総合的な学校支援（学習支援＋学校支援）体制の再構築」について検討を進める必要がある。
- 2) また、カレッジの在學生が行う地域交流活動（学校支援活動）とグループわの区会活動との間には相互連携がない。今後区会組織の若返りのためにも両者間の太い絆が求められる。

**在校生との活動面  
連携強化（接点造り  
の強化）**

**卒業後もわ区会  
での地域貢献継  
続**

## 2. 地域ぐるみでこどもを育てる体制作りが本格化

文部科学省（生涯学習政策局、社会教育課地域・学校支援推進室）が平成20年度から「学習支援地域本部事業」の実施を全国的にスタートさせている。学校支援地域本部は学校を支援するため、学校が必要とする活動について地域の方々をボランティアとして派遣する組織で、いわば地域に作られた「学校の応援団組織」と言える。地域のボランティアが学校を支援するこれまでの取組みを更に発展させて組織的なものにし、学校の求めと地域の力をマッチングしてより効果的な学校支援を行おうとする制度である。

学校支援・学級支援活動状況

| 組織      | 活動メンバー       | 支援活動内容  | 支援対象                   |
|---------|--------------|---|------------------------|
| グループわ本部 | 学習支援登録会員     | [学習支援活動]<br>◦学習の指導補助<br>◦課外学習の指導補助<br>◦特別支援教育の補助                            | 市内全小学校（特別支援学校を含む）      |
| グループわ区会 | 自主的支援活動会員    | ◦本部実施の学習支援<br>◦カレッジ在學生実施の学校支援   | 市内の特定小学校（活動者との個人的繋がり他） |
| カレッジ在學生 | 地域交流授業参加の在學生 | [学校支援活動]<br>◦登下校のこども見守り<br>◦学校行事等の受付・見回り<br>◦花壇・樹木手入れ等環境整備<br>◦その他学校全体に係る支援 | 市内全小学校（特別支援学校を含む）      |

こうした地域ぐるみの学校支援体制作りが本格化してきた現下の情勢を考えると、まず、学校支援ボランティア組織の代表候補としてグループわの存在が標的になることは避けられない状況にある。

## 4. わ本部、区会一体の学校支援体制構築

最優先課題の「各区会での学校支援体制作り」から着手し、段階的に本部・区会一体となった総合的学校支援（学習支援＋学校支援）体制を整備していく。

### 第一段階

各区に「学校支援担当者」を任命し、各区内の自発的の学校支援（学習支援活動者も含む）の実態を調査し、「学校支援活動グループ」を組織化する。し、区会活性化を加速させる。

### 第二段階

後述区会活性化推進委員会「学校支援体制部会」、「学習支援委員会」、「区会学校支援担当者」の三者でグループわの新しい「学校支援体制の再編」を協議する。

### 第三段階

グループわの「学校支援組織体制」本番スタート。本部組織には対教育委員会窓口機能、各区学校支援活動の調整機能、わ全体としての学校支援推進のための企画機能を残す。

以上の活性化諸対策を推進するため、新年度「区会活性化推進委員会（仮称）」をわ本部に設置し、活性化諸対策の具体化に取り組む方針です。